

ハプトグロビン		2124000			
		担当部署			
Hp		生化			
<b>検査オーダー</b>					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8:15~16:00			
<b>検体採取・搬送・保存</b>					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
<b>検査結果・報告</b>					
検査室の所在地		病院棟3階 中央検査部			
測定時間		当日中~翌日			

生物学的基準範囲		19～170mg/dL N-アッセイ TIA Hp ニットーボー添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
19	170	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>以下のような Hp の減少や増加の有無とその病態を知る目的の検査である。</p> <p>(1)血管内・外で溶血をきたす疾患、無効造血の亢進をきたす疾患や不適合輸血による溶血の判定に有用である。</p> <p>(2)肝機能障害の予後判定や先天性 Hp 産生不良の状況判定などの目的で利用できる。</p> <p>(3)炎症性疾患、組織壊死病変、悪性腫瘍やネフローゼ症候群などの Hp 高値をきたす病態の診断に有用である。</p> <p>(4)新生児における胎内感染の判定に参考となる。</p> <p>(5)Hp 遺伝型の違いによる各種疾患の診断に有用である。</p> <p>日本臨床第 7 版 1, 257,2009</p> <p>また当院では、<math>\alpha</math> 1AG・CRP・ハプトグロビンは新生児感染症スクリーニングの APR スコアに用いられる。</p>				